

令和7年6月10日 地震調査研究推進本部 地震調査委員会

2025年の主な地震活動の評価（案）

㊦. 日向灘の地震活動

【2025年1月13日、M6.6・最大震度5弱・津波を観測】

- 1月13日に日向灘の深さ約35kmでM6.6の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。この地震により、宮崎港（港湾局）で23cmなど、高知県から鹿児島県にかけて津波を観測した。

この地震は2024年8月8日に発生したM7.1の地震後の活動域内で発生した。M7.1の地震発生直後は、活動は活発な状態であったが、時間の経過とともに地震回数は減少していた中で、今回の地震が発生した。M6.6の地震発生以降の地震活動は15日にM5.4の地震が発生するなど、活発な状態が続いていたが、時間の経過とともに地震回数は減少してきている。

・2025年1月13日 日向灘の地震

GNS S観測によると、今回の地震に伴い、佐土原（さどわら）観測点で南東方向に約5cmの水平変動、約2cmの沈降など宮崎県を中心に地殻変動を観測している。GNS S－音響測距結合方式の海底地殻変動観測によると、2025年1月13日の地震の震央に比較的近い複数の観測点について、この地震の発生前後で有意な地殻変動は観測されていない。

- ・日向灘の地震（2025年1月13日 M6.6）前後の観測データ
- ・臨時海底地殻変動観測結果①、②

2024年8月8日に発生したM7.1の地震の後、およそ5か月間（M6.6の地震発生前まで）に宮崎観測点で南東方向に約5cmの変動など宮崎県南部を中心に、余効変動と考えられる地殻変動が観測されていた。さらに、M6.6の地震後も継続して余効変動と考えられる地殻変動が観測されている。

- ・日向灘の地震（2024年8月8日 M7.1）後の観測データ

発震機構と地震活動の分布、GNS S観測及び地震波の解析結果から推定される今回の地震の震源断層は、2024年8月8日に発生したM7.1の地震の震源断層の北側に隣接し、プレート境界上に位置している。

- ・近地強震波形による震源過程解析

- ・ 2025 年 1 月 13 日日向灘の地震の震源過程
- ・ 2025 年 1 月 13 日 日向灘の地震の震源断層モデル
- ・ GNSS データから推定した 1996 年 10 月 19 日、1996 年 12 月 3 日、2024 年 8 月 8 日、2025 年 1 月 13 日の地震の矩形断層モデルの位置の比較

今回の地震の付近では 1996 年 10 月 19 日に M6.9 の地震、1996 年 12 月 3 日に M6.7 の地震が発生し、いずれも被害を生じている。今回の地震は、地震調査委員会が「日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）（令和 4 年 3 月 25 日公表）」で評価対象としていた「日向灘のひとまわり小さい地震」の発生領域で起きており、この領域は M7.0～M7.5 程度の地震が 30 年以内に発生する確率はⅢランク（*）で、海溝型地震の中では発生する確率が高いグループに分類されている。

・ 日向灘周辺で発生した過去の地震と今回の地震

*：海溝型地震における今後 30 年以内の地震発生確率が 26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明（すぐに地震が起きることを否定できない）を「Xランク」と表記している。

注：GNSSとは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。

㊦. 福島県会津の地震活動

【2025 年 1 月 23 日、M5.2・最大震度 5 弱】

○ 1 月 23 日に福島県会津の深さ約 5 km で M5.2 の地震が発生した。また、この地震の震央付近では、同日に M4.7 の地震が発生した。これらの地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。今回の地震の震央付近では、1 月 21 日から地震活動が活発化し、2 月 11 日までに震度 1 以上を観測した地震が 90 回発生するなど、地震活動は継続している。今回の地震の震央周辺では、2013 年 2 月 25 日に M6.3 の地震（最大震度 5 強）が発生するなど、M4.0 以上の地震が時々発生し、またその際にはまとまった地震活動がみられている。

GNSS観測の結果によると、これらの地震に伴う有意な地殻変動は観測されていない。

- ・ 1 月 23 日 福島県会津の地震
- ・ 令和 7 年 1 月 23 日 福島県会津の地震（周辺の過去の地震活動）
- ・ 福島県会津の地震（1 月 23 日 M5.2, 1 月 23 日 M4.7）前後の観測データ

注：GNSSとは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。

㊧. 長野県北部の地震活動

【2025 年 4 月 18 日、M5.1・最大震度 5 弱】

○ 4 月 18 日 20 時 19 分に長野県北部の深さ約 15km で M5.1 の地震が発生した。こ

の地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。この地震のほぼ同じ場所で、18日23時39分、19日にそれぞれ深さ約15km、10kmでM4.5、M4.3の地震が発生した。これらの地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ型、北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。4月18日から30日までに震度1以上を観測する地震が65回発生するなど地震活動が活発であった。

一連の地震の震源周辺には、糸魚川－静岡構造線断層帯と長野盆地西縁断層帯が存在している。

G N S S観測によると、今回の地震に伴う有意な地殻変動は観測されていない。

- ・ 4月18日 長野県北部の地震
- ・ 4月18日 長野県北部の地震（周辺の活断層との位置関係）
- ・ 長野県北部の地震（最大地震4月18日M5.1）の観測データ

注：G N S Sとは、G P Sをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。

各地震活動の評価は、発生後、令和7年5月（の定例の地震調査委員会）までに公表された評価内容を取りまとめたものです。これ以降の公表状況については、最新の評価結果（毎月の地震活動の評価）をご覧ください。

なお、最近1年間に発生した地震活動の評価は、今後のとりまとめ作業により内容更新される可能性があります。